

ホンダワラの仲間



写真1:「海藻の森と磯浜」水槽の様子

「海藻の森と磯浜」水槽には、様々な海藻を展示しています（写真1）。茶色の海藻はホンダワラの仲間、現在、アカモク・シダモク・ヨレモクモドキ・ホンダワラ・タマハハキモク・エンドウモクの6種類（写真2）を展示しています。ホンダワラの仲間は、気胞と呼ばれる空気の入った「浮き」をたくさんつけて、海底から立ちあがっているのが特徴です。

この気胞の形は、種類を見分ける時の参考になります（写真2）。展示しているホンダワラの仲間は、海では夏に枯れたりちぎれてしまいます。しかし、秋には岩肌に小さな海藻が育ち始め、冬から春にかけてすくすく成長します。

冬本番の今は海が荒れやすく、成長途中の

ホンダワラの仲間が、強い波の力でちぎれて浜に打ち上がることがよくあります。

mini・mini 水族館では、浜でこのような海藻の中から元気そうなものを採集して、水槽で展示しています。

一年うちで、最もにぎやかな「海藻の森」を見てもらえるのが今の季節なのです。



アカモク：気胞は細い円柱形



シダモク：気胞は納鍾形



ヨレモクモドキ：気胞は楕円形



ホンダワラ：気胞は、卵形や楕円形



タマハハキモク：気胞は、球形や卵形



エンドウモク：気胞は、球形

写真2 「海藻の森と磯浜」水槽で展示しているホンダワラの仲間（時期により、種類は変わります。）



せんなん里海公園
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所